

# 教育委員会

単位：千円

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
【教育総務課】 高等学校建設費	1,283,562 (1,539,920)	時代の進展に即応した高校教育施設の充実を図るとともに、老朽化している校舎等の改修を実施し、教育環境の改善を図る。 また、新耐震基準以前に設計された高等学校については、順次、耐震診断調査結果に基づき、補強工事を実施していく。
国	11,150	1 校舎等の施設改修 426,335
繰	2,426	改修等工事（草津高校外壁改修工事等） 12件 調査・設計（彦根東高校調査・基本設計等） 4件
諸	5,250	2 アスベスト対策 321,031
起	938,000	アスベスト除去工事等
－	326,736	3 耐震対策 530,946 (債務負担行為 平成20年度 979,888) 耐震補強工事 5校、実施設計 6校、耐震診断 5校
		4 校地整備 1校 5,250
特別支援学校建設費	4,569,557 (1,256,498)	中部・湖南地域における近年の児童生徒の増加に対応するため、（仮称）野洲養護学校の整備および八日市養護学校の改修を進める。 また、老朽化している校舎等の改修および耐震補強工事を実施し、教育環境の整備を図る。
国	492,140	1 県立養護学校の改築・改修整備 4,391,054
繰	45,030	(仮称)野洲養護学校の整備 造成工事、校舎等建築工事等 八日市養護学校の改修整備 校舎改修工事等
諸	8,000	2 校舎等の施設改修 43,514
起	2,710,000	工事（長浜養護学校便所改修工事） 1件 設計（盲学校暖房設備改修設計等） 3件
－	1,314,387	3 耐震対策 134,989 (債務負担行為 平成20年度 200,280) 耐震補強工事 1校

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
教育行政企画調整費	<p>4,270 (3,850)</p> <p>－ 4,270</p>	<p>1 「滋賀 教育の日」推進事業 2,200</p> <p>11月1日の「滋賀 教育の日」と、その前後の10、11月を中心に各種の関連事業を展開して、県民がそれぞれの立場、場所で教育の場に参加し、ともに支え合う「滋賀の教育」を推進する。</p> <p>2 滋賀の教育改革の推進 1,759</p> <p>「滋賀の教育協議会」において、今後の滋賀の学校教育の在り方について幅広い見地から検討するとともに、新時代に対応した学校づくりや中等教育の選択の幅を広げるため、新しい中高一貫教育校2校の設置に向けた研究を行う。</p> <p>新 地域教育を支援するための教員の設置</p> <p>いじめや不登校、学力の向上、家庭や地域の教育力の向上など、今日の課題に地域をあげて取り組む町教育委員会が必要とする支援を図るため、専門的教育職員を配置する。 (予算は職員費に計上)</p> <p>・地域担当 7人</p>
<p>【教職員課】</p> <p>教職員派遣研修費</p>	<p>16,122 (17,447)</p> <p>－ 16,122</p>	<p>学校の管理運営や学習指導等の諸問題について教員としての職務遂行に必要な知識、技術を習得させ見識を高めるとともに、教育公務員としての自覚を深めさせるために派遣研修を実施する。</p> <p>1 教職員海外派遣研修 4,349</p> <p>国際的視野に立った識見および教職に対する自信と責任と誇りを高めるため、独立行政法人教員研修センター主催の教職員海外派遣研修事業に教員を派遣する。 ・派遣者数(短期派遣16日間) 30人</p> <p>2 若手教員海外研修 3,518</p> <p>若手教員を対象に、外国の教育機関等での研修を行わせ、専門知識を深めるとともに、海外での生活体験により国際感覚を養わせることによって、今後の学校教育の改革や国際理解教育を推進する担い手となる教員の育成を図る。 ・派遣者数 2人</p>

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
(教職員派遣研修費)		<p>3 教員民間等派遣研修 3,982</p> <p>学校と異なる組織で自らの教育観、指導観を見つめ直させ、教育現場において活用すべき点を吸収させ、教員の資質や指導力を向上させ、併せて教育そのものの活性化を図るため、教員を民間企業等に派遣する。</p> <p>・派遣者数 40人</p> <p>4 教職員中央研修 4,273</p> <p>教育を取り巻く環境はめまぐるしく変化しており、重要かつ喫緊の課題に対応するため、管理職教員の資質向上や将来の管理職の養成を目指した独立行政法人教員研修センター主催の「各地域の中核となる校長・教頭等の育成を目的とした研修」に、校長・教頭をはじめ中堅教員を派遣する。</p> <p>・派遣者数 42人</p>
人事管理費	<p>68,409 (58,184)</p> <p>国 1,742</p> <p>諸 1,000</p> <p>— 65,667</p>	<p>新「滋賀の教師塾」開設事業 5,205</p> <p>今後小中学校教員の大量退職時期を控え、採用者数の増加が見込まれる中、質の高い教員希望者をより多く受験させ、他府県への流出を防ぐとともに、即戦力となる教員を養成し採用後の円滑な勤務に繋げるため、本県の小中学校教員を志望する大学生、大学院生を対象に教師としての熱意や使命感の醸成および実践的な指導力の育成を目的とした「滋賀の教師塾」を新たに開設する。</p>

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
教職員給与費	114,473,989 (112,006,075)  国 19,916,119  使 3,540,265  諸 6,438  - 91,011,167	<p>基礎・基本の確実な定着を図るとともに、児童生徒一人ひとりの個性や能力を伸ばすため、少人数学級編制や少人数指導などきめ細かな指導を推進し、また、いじめや不登校をはじめとした喫緊の教育課題に対する指導の充実を図る。</p> <p>1 少人数学級編制</p> <p>(1) 小学校1年生、2年生および中学校1年生における35人学級編制（小学校にあっては複数指導との選択制）をすべての小中学校で実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・継続 小学校 教員 85人 非常勤講師 54人（週15時間）</li> <li>中学校 教員 89人</li> </ul> <p>(2) 小学校3年生の少人数学級編制の実施</p> <p>中学年段階に求められる学習や生活面での学校生活の自主的、自立的精神の基礎的素養や、学校生活における低学年児童への指導性の素地を築くため、小学校1,2年生と同様に、35人学級編制と複数指導の選択制を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規 小学校 教員 62人 非常勤講師 29人（週15時間）</li> </ul> <p>(3) 小学校4年生から6年生における少人数学級編制の実施</p> <p>個に応じたきめ細かな指導を図り、特色ある学校教育を進めるため、学校の実情に応じて、選択により小学校4年生から6年生のうち、1つの学年において少人数学級編制が実施できるよう、必要な教職員の配置を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・継続 小学校 臨時講師 9人</li> </ul>

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明				
(教職員給与費)		教職員定数 <span style="float: right;">単位：人</span>				
			19年度(A)	18年度(B)	増減(A-B)	
		小 学 校	校長教諭等	4,650	4,557	93
			養護教諭	245	243	2
			栄養教諭・ 栄養職員	66	66	0
			事務職員	247	249	2
			小計	5,208	5,115	93
		中 学 校	校長教諭等	2,703	2,657	46
			養護教諭	101	100	1
			栄養教諭・ 栄養職員	12	12	0
			事務職員	118	116	2
			小計	2,934	2,885	49
		高 等 学 校	校長教諭等	2,316	2,382	66
			上記以外の職員	478	489	11
			小計	2,794	2,871	77
		特 別 支 援 学 校	校長教諭等	890	861	29
			上記以外の職員	176	178	2
			小計	1,066	1,039	27
		合 計		12,002	11,910	92

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
【福利課】		
教職員福利厚生費	303,449 (319,763)	教職員の生活の安定と福祉の向上に寄与するとともに、公務の能率的運営に資するため、福利厚生事業を実施する。
	諸 341	1 教職員の安全衛生管理体制の推進 56,686
		2 教職員互助団体事業 168,000
	－ 303,108	3 公立学校共済組合運営費 70,650
【学校教育課】		
生徒指導対策費	209,015 (173,219)	不登校、いじめ、暴力行為等の生徒指導上の諸問題への対策として、児童生徒や保護者に対する相談・指導体制を充実する。
	国 99,265	1 スクールカウンセラーの配置 125,490
	⊖ 109,750	スクールカウンセラーを各学校に配置し、児童生徒や保護者へのカウンセリング、教職員への助言援助を行う。 ・中学校：100校 ・県立学校：重点校10校（地域拠点）、その他36校
		2 小学校心のオアシス相談員の配置 10,650
		児童が悩みを気軽に話せ、ストレスを和らげることができる第三者的な存在となる心のオアシス相談員を30小学校へ配置する。
		3 スクーリング・ケアサポーター事業 10,500
		不登校や別室登校の児童に対して、年齢が近く子どもたちが心を開きやすい大学生をケアサポーターとして派遣し、話し相手や学習支援にあたる。
		4 生徒指導緊急特別対応事業 17,783
		暴力行為等課題の大きな学校への支援を行うため、警察OBと教員OBをチームとして学校へ派遣し、学校と関係機関との一層の連携強化を推進するとともに、学校に対して問題を起こす児童生徒やその保護者への対応の指導助言を行う。

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
(生徒指導対策費)		<p>新 5 問題を抱える子ども等の自立支援事業 27,000</p> <p>いじめの事案をはじめ、暴力行為や不登校等、学校が抱えている問題の解決が強く迫られている状況の中、未然防止や早期発見、早期対応（訪問指導など）ができる体制づくり、および、子ども達の支援を行えるよう、適応指導教室の充実などを行う。</p> <p>新 6 スクールソーシャルワーク的 school 不適應支援事業 3,610</p> <p>課題のある小学校にスクールソーシャルワーカーを派遣し、ケース会議の場において、福祉的な面も踏まえて学校関係者に対して直接指導、助言する。</p> <p>新 7 学校いじめ対策コーディネーター配置事業 3,296</p> <p>児童、生徒および保護者からいじめに関する相談に応じ、関係機関と連携を取りながら、いじめに対して早期に適切な対応をとることができるようコーディネーターを1名配置する。</p>
就学前および幼稚園 教育振興費	<p>8,183 (7,894)</p> <p>⊖ 8,183</p>	<p>幼児期が人間形成の基礎を養う重要な時期であることに鑑み、幼稚園、保育所、地域の連携による幼児教育の推進を行う。</p> <p>1 幼小連携推進事業 1,377</p> <p>「滋賀県幼児教育推進の指針」の普及と活用を図り、幼児教育と小学校教育のなめらかな接続を推進するため、幼小連携推進協議会および幼小連携推進フェアを開催する。</p>



事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明																		
高等学校奨学資金貸付事業費	346,739 (327,327)	<p>経済的理由により高等学校等へ進学することが困難な者に対して奨学資金を貸与する。</p> <p>奨学資金貸付金 328,922</p> <p>貸与者：1,208人(予定)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>自宅通学者</th> <th>自宅外通学者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">奨学金 (月額)</td> <td>国公立</td> <td>18,000円</td> <td>23,000円</td> </tr> <tr> <td>私立</td> <td>30,000円</td> <td>35,000円</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">入学資金 (一時金)</td> <td>国公立</td> <td colspan="2">50,000円</td> </tr> <tr> <td>私立</td> <td colspan="2">50,000円ただし、入学金相当額内 (150,000円を限度)の加算あり</td> </tr> </tbody> </table>			自宅通学者	自宅外通学者	奨学金 (月額)	国公立	18,000円	23,000円	私立	30,000円	35,000円	入学資金 (一時金)	国公立	50,000円		私立	50,000円ただし、入学金相当額内 (150,000円を限度)の加算あり	
		自宅通学者	自宅外通学者																	
奨学金 (月額)	国公立	18,000円	23,000円																	
	私立	30,000円	35,000円																	
入学資金 (一時金)	国公立	50,000円																		
	私立	50,000円ただし、入学金相当額内 (150,000円を限度)の加算あり																		
	諸 189,799																			
	⊖ 156,940																			
特別支援教育振興費	20,863 (21,215)	<p>一人ひとりの障害の状況に応じた指導を行い、児童生徒が自立し、社会参加をするための基礎となる生きる力を育成する教育を充実する。</p> <p>1 病弱教育等振興費 13,707</p> <p>病気療養児童生徒を対象に、巡回訪問指導教員7人を派遣し、学習の支援、相談活動等の教育対応を図る。</p> <p>2 要医療的ケア児童生徒学習支援事業 3,307</p> <p>医療的ケアを必要とする児童生徒が参加する修学旅行等の校外行事に看護師を派遣する。</p> <p>3 特別支援教育推進体制整備事業 2,469</p> <p>特別支援教育を推進するため、特別支援教育コーディネーターの養成に加えて資質の向上を図るとともに、特別支援学校(盲・聾・養護学校)がセンター的機能を発揮することにより、市町の体制整備を支援し、特別支援教育推進体制の整備を図る。</p>																		
	⊖ 20,863																			

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
教科等指導対策費	<p>122,606 (65,753)</p> <p>国 55,865</p> <p>⊖ 66,741</p>	<p>子どもたちの発達段階や課題に応じた多様な体験学習の取組などを行う。</p> <p>1 高校生実社会体験事業 7,224</p> <p>体験的学習のうち、就業体験およびボランティア体験を重点化して実施するとともに、「人(H)・社会(S)・自然(N)」に関連し学校全体で取り組む特徴的な体験活動を実施する。</p> <p>2 豊かな心を育む異年齢交流体験事業 5,260</p> <p>異年齢によるふれあい体験を実施することにより、校種が変わる時に生じやすい児童生徒の不安の減少を促し、不登校を未然に防止するとともに、中学生および高校生が自己の成長を振り返ったり、自分の存在を確認したり、自己の生き方を考えることにより豊かな心を育む。</p> <p>(1) 中学校へジャンプ交流体験事業 2,000</p> <p>(2) 高校生と小学生交流事業 3,260</p> <p>3 中学生チャレンジウイーク 14,500</p> <p>子どもたちが職業観・勤労観をはぐくみ、自らの将来の生き方を見い出していく力を養うため、公立中学生に対し5日以上職場体験を実施する。</p> <p>4 確かな学力を育む学びサポートプラン 5,732</p> <p>基礎・基本の定着、個に応じた効果的な指導法や指導体制の充実、および学校間の連携を図ることによる地域全体の学力の向上等の課題に対応するため、モデル地域およびモデル校を指定し、地域単位の特色ある取組を実践研究することにより、その成果の全県への普及を図る。</p> <p>(1) 国語力向上事業 2,754</p> <p>(2) 算数・数学学力向上事業 2,500</p> <p>(3) 中学校英語力向上事業 478</p>

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
(教科等指導対策費)		<p>5 遠距離通学費等補助事業 1,002</p> <p>県立中学校および全日制高等学校の通学費等に要する経費の一部を補助することにより、へき地からの通学費および遠距離通学を支援する。</p>
		<p>6 滋賀ことのはプロジェクト 2,600</p> <p>文化や自然に恵まれた滋賀を題材にして、小・中・高等学校での読書・表現の充実による国語力の向上を図る。</p>
		<p>新 7 理科支援員等配置事業 42,420</p> <p>小学校理科教育の活性化および充実を図るとともに、教員の指導力向上を図る。</p>
		<p>新 8 子どもが学ぶ「近江の歴史と文化」事業 7,725</p> <p>郷土の歴史、文化や人物などを取り上げた副読本や資料集などを全児童生徒に配布し、子どもたちが地域の良さを学習する。</p>
		<p>新 9 小中一貫教育推進事業 1,233</p> <p>小中一貫教育の在り方を検討するとともに、5地域を指定し、学校の特色を生かした実践研究を行う。</p>
		<p>新 10 いじめをしない・させない学校づくり ～児童会・生徒会活動の主軸として～ 2,227</p> <p>児童会・生徒会活動において行う、「いじめをしない・させない」学校づくりに向けた取り組みに対して支援を行う。</p>
		<p>新 11 舞台芸術鑑賞事業 2,031</p> <p>びわ湖ホールで上演される舞台芸術の鑑賞する機会を提供する。</p>

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
環境教育推進費	<p>6,752 (6,331)</p> <p>国 4,000</p> <p>⊖ 2,752</p>	<p>環境を大切に作る心やよりよい環境の創造のために行動する実践的な態度や資質・能力の育成を図るため、資源循環の仕組みを学習する事業の実施により環境教育の推進を図る。</p> <p>1 菜の花で「うみのこ」を動かそう事業 2,732</p> <p>小学校で菜の花を栽培し、搾油をした菜種油を学校給食に利用し、廃食油を学習船「うみのこ」の燃料にする過程を通して資源循環の仕組みを学習する。</p>
国際教育推進費	<p>227,906 (210,724)</p> <p>国 17,929</p> <p>⊖ 209,977</p>	<p>急速に進展する国際化に対応できる人材を育成するため、A L T の招致や海外との交流事業を実施する。</p> <p>1 語学指導外国青年招致費 185,849</p> <p>外国語指導助手（A L T : 36人）を高等学校等へ配置し、生徒の外国語理解・コミュニケーション能力の向上を図る。</p> <p>2 英語教員資質向上研修 2,969</p> <p>英語の授業をコミュニケーション能力を重視したものに改善するため、5カ年計画により教員の英語力および英語教授法に関する研修を実施する。</p> <p>3 外国人児童生徒ほっとサポート事業 2,995</p> <p>日本語指導が必要な外国人児童生徒に対し、母語を理解できる指導協力者が母語を介して児童生徒やその保護者と円滑なコミュニケーションが図れるように、学校生活や学習などについての支援を行う。</p>

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
(国際教育推進費)		<p>4 滋賀県中高生海外ホームステイ体験プログラム 15,223</p> <p>外国での学校・家庭生活の体験により異文化への理解を深め、国際的視野を持たせるとともに、英語運用能力の向上を図ることを目的に県内の高校生、中学生100名を海外に派遣する。</p> <p>(1) 中学生海外派遣研修 36人 県立中学校3校の生徒を米国等に派遣する。</p> <p>(2) 高校生海外相互派遣 20人 本県の高中生と米国ミシガン州の高中生を相互に派遣する。</p> <p>(3) 高校生海外生活体験研修 44人 県内の高校生を米国、カナダに派遣する。</p> <p>新 5 小学校英語教育条件整備推進プラン 16,912</p> <p>小学校における英語教育を充実させるための条件整備として、英語教材の配布、授業での地域人材の活用、指導者の養成研修を行う。</p> <p>新 6 地域日本語教育支援事業 1,017</p> <p>外国人の子ども達に対し、それぞれの言語で作成された日本語学習テキストを作成し、配布する。</p>
情報教育推進費	<p>248,608 (200,549)</p> <p>⊖ 248,608</p>	<p>情報教育の推進に資するため、教科「情報」の展開や、教育情報ネットワークの運用ならびに教育用コンピュータ等の整備を行う。</p> <p>1 教育用コンピュータ等整備 211,702</p> <p>教育用コンピュータを高等学校10校、障害児教育諸学校5校に整備する。</p> <p>2 教育情報ネットワーク 36,906</p> <p>びわ湖情報ハイウェイネットを利用して県内小中高等学校等を高速ネットワークで結ぶ「教育情報ネットワーク」の運用を実施する。</p>

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
中学校教育振興費	19,802 (19,841)  使 1,033  ⊖ 18,769	県立中学校における教科指導、特別活動指導等を円滑に推進するとともに、学校活動の充実を図る。  1 県立中学校教科・特別活動費 4,262  教科指導、特別活動指導等の円滑な実施のため、教材等の整備を行う。
高等学校教育設備整備費	124,016 (126,576)  国 5,000  ⊖ 119,016	高等学校における教科用設備の整備を行う。  1 高等学校教科および特別活動設備 71,535  教科指導、特別活動指導等の円滑な実施のため、機器等の整備を行う。  2 高等学校図書整備費 30,000  高等学校図書館の蔵書整備を行う。  3 一般実験実習設備整備費 11,481  高等学校における実験実習に要する機器の整備を行う。
高等学校教育振興費	173,113 (131,560)  国 31,973  ⊖ 141,140	高等学校における教育振興のため各種事業を実施する。  1 一般実験実習振興費 90,094  高等学校における実験実習に要する教材等の整備を行う。  2 アクティブハイスクール支援事業 33,322  未来を拓く人材を育成し、情報化・国際化・環境との調和の時代を生き抜く資質を養成するために、高校の特色をより明確にして高校教育を活性化する。

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
(高等学校教育振興費)		<p>3 デュアルシステム実践推進事業 2,332</p> <p>企業実習と教育、職業訓練を組み合わせる実施することにより、生徒自らの可能性を高め、社会で活躍する意欲を培い、人生を切り拓き挑戦する気概を育むキャリア教育の推進を図る。</p> <p>新 4 県立学校ジョブサポート事業 9,590</p> <p>無就労の若者が社会的問題となっている中、早期に離職することがないように、高校生や卒業生の就労支援を行う。</p> <p>新 5 ものづくり人材育成のための専門高校・地域産業連携事業 30,000</p> <p>地元産業と工業高校、産業振興財団などが連携し、もの作り人材育成のための教育カリキュラムの検討、生徒および教員の職場体験や企業見学などの実践研修を行う。</p>
【総合教育センター】 研究調査費	<p>11,437 (10,648)</p> <p>⊖ 11,437</p>	<p>教育的諸問題の解決への基礎資料を提供するため、教育相談、実態調査および実証的調査研究を行う。</p> <p>1 特別支援教育支援事業 5,181</p> <p>発達障害の子どもの教育相談業務を行うとともに教員の指導力を高める。</p> <p>2 英語基礎学力診断調査 838</p> <p>中学生の英語科の基礎的な学習内容（リスニングを含む）の定着状況を調査、分析し、指導方法の改善に資する。</p> <p>・対 象：中学校2年生 14,000人</p>

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
講習会費	<p>3,332 (3,117)</p> <p>⊖ 3,332</p>	<p>今日的課題や社会の変化に対応した研修・講座を実施し、教員の指導力向上を図る。</p> <p>1 理科観察実験基礎研修 922</p> <p>小学校の教員を対象に理科学習における観察実験の基礎的な知識や技能の向上を図る研修を行う。</p> <p>・対象：小学校2年次教員 124人</p> <p>2 指導力向上プログラム 1,683</p> <p>教員を対象に授業づくりや学級づくり等を目的とした実践的な研修を行う。</p> <p>・授業力アップ講座 5講座          ・教科等指導力向上講座 21講座          ・理科ものづくり講座 2講座</p>
教職員研修費	<p>18,121 (19,578)</p> <p>⊖ 18,121</p>	<p>教職員の資質向上を図るため、経験・職務に応じた研修を行う。</p> <p>1 ステップアップ研修 1,657</p> <p>学校が課題解決に向けて組織的、機動的に対応できる組織体となるため、管理職の経営管理能力の育成と中堅教員のリーダーシップ養成を図る研修を行う。</p> <p>・対象：管理職（小・中・県立学校） 388人          中堅教員（小・中・県立学校） 90人</p> <p>2 新規採用教職員研修 7,637</p> <p>教育公務員としての使命感を高め、専門職としての基礎的な指導力を培うため、サービスと法規、体験などの一般研修と学級経営や教科研究などの授業研修を行う。</p> <p>・対象：小・中・県立学校 274人          幼稚園 50人          養護教諭 8人</p>



事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明																	
(教職員研修費)		<p>3 教職員経験者研修 806</p> <p>新規採用者研修と10年経験者研修をつなぐライフステージ研修として、教職2年次、6年次に応じた基礎的知識・技能・態度を養う研修を行う。</p> <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td></td> <td style="text-align: right;">2年次</td> <td style="text-align: right;">6年次</td> </tr> <tr> <td>・対象：小・中・県立学校</td> <td style="text-align: right;">163人</td> <td style="text-align: right;">178人</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">幼稚園</td> <td style="text-align: right;">39人</td> <td style="text-align: right;">30人</td> </tr> </table> <p>4 10年経験者研修 5,688</p> <p>在職期間が10年に達した教員に対して、個々の能力、適性に合った研修を実施し、教科指導、生徒指導等の指導力の向上を図る。</p> <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>・対象：小・中・県立学校</td> <td style="text-align: right;">198人</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">幼稚園</td> <td style="text-align: right;">14人</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">養護教諭</td> <td style="text-align: right;">7人</td> </tr> <tr> <td style="padding-left: 20px;">学校栄養職員</td> <td style="text-align: right;">7人</td> </tr> </table>		2年次	6年次	・対象：小・中・県立学校	163人	178人	幼稚園	39人	30人	・対象：小・中・県立学校	198人	幼稚園	14人	養護教諭	7人	学校栄養職員	7人
	2年次	6年次																	
・対象：小・中・県立学校	163人	178人																	
幼稚園	39人	30人																	
・対象：小・中・県立学校	198人																		
幼稚園	14人																		
養護教諭	7人																		
学校栄養職員	7人																		
情報教育費	<p>57,329 (56,791)</p> <p>⊖ 57,329</p>	<p>1 しが e-センター推進費 35,217</p> <p>e-Learningシステムおよび教育情報システムを活用し、研修、教育、相談を行うとともに教育情報の開発・収集と発信も併せて行う。</p> <p>2 情報教育機器整備費 19,650</p> <p>情報教育を推進するために新しい機器を活用し、教職員の能力向上を図る。</p>																	
<p>【びわ湖フローティングスクール】</p> <p>活動費</p>	<p>35,965 (35,654)</p> <p>⊖ 35,965</p>	<p>フローティングスクールの教育・学習効果を高めるための環境整備を行う。</p> <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>1 児童学習航海(1泊2日)</td> <td style="text-align: right;">93航海</td> </tr> <tr> <td>2 「湖の子」体験航海(1日)</td> <td style="text-align: right;">2航海</td> </tr> <tr> <td>3 保護者体験航海(1日)</td> <td style="text-align: right;">2航海</td> </tr> </table>	1 児童学習航海(1泊2日)	93航海	2 「湖の子」体験航海(1日)	2航海	3 保護者体験航海(1日)	2航海											
1 児童学習航海(1泊2日)	93航海																		
2 「湖の子」体験航海(1日)	2航海																		
3 保護者体験航海(1日)	2航海																		

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
船舶運航管理費	<p>226,284 (226,695)</p> <p>⊖ 226,284</p>	<p>「うみのこ」の船舶の良好な保守管理のもと安全な運航を行う。</p>
<p>【人権教育課】</p> <p>人権教育推進指導事業</p>	<p>17,733 (17,552)</p> <p>－ 17,733</p>	<p>学校教育等における人権教育を推進するため、学校等における教育研究や指導者の養成を行う。さらに、地域社会が連携して人権教育を推進するための体制整備を行うとともに、重層的な課題を持つ児童生徒に対する地域ぐるみの取組を推進する。</p> <p>1 子ども輝き人権教育推進事業 4,747</p> <p>教育上重層的な課題があり、特に配慮が必要と認められる中学校区において、学校や家庭・地域・関係機関等が連携・協働し、子どもの人権が大切にされる環境を整備する。</p> <p>2 人権感覚あふれる学校づくり促進事業 1,423</p> <p>小学校等を中心に各校の人権教育のめざす研究主題を明確にし、その学習方法や指導方法の研究開発を行うとともに、校種を超えた学校、関係機関等との連携を通して人権感覚あふれる学校づくりを促進する。</p> <p>3 人権教育教職員等指導事業 4,119</p> <p>(1) 人権教育教職員実践サポート講座 1,401</p> <p>人権教育に関わる教職員の授業実践をサポートする講座を開催する。</p> <p>(2) 人権学習実践事例集作成 1,029</p> <p>暴力やいじめ等他者へ危害を加えるような事象、不登校や引きこもりなどの諸問題の解決に当たっては、人権教育の視点に立った生徒指導が必要となり、より具体的に人権学習の実践を紹介する資料が必要であると考えられる。そこで人権学習の実践事例集を作成することとする。</p>

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
(人権教育推進指導事業)		<p>(3) 人権学習プログラム実証研究 1,689</p> <p>第3集まで刊行した人権学習プログラムを幼・小・中・高の学校現場で実証研究することにより、今後のより効果的なプログラムの作成につなげる。</p>
人権教育総合推進費	<p>162,571 (167,699)</p> <p>— 162,571</p>	<p>社会教育における人権教育を推進するための体制の整備・充実を図るとともに、市町等における人権教育諸活動の促進を図る。</p> <p>1 人権教育指導者研修会 392</p> <p>人権尊重の地域づくりをめざす指導者の育成と地域ぐるみの人権学習を推進するコーディネーターを養成する。</p> <p>2 子どもを支える人権のまちづくり促進事業補助 5,500</p> <p>地域総合センターや公民館等の社会教育関連施設を核として、生活や学力等に課題を持つ子どもたちの確かな進路をきりひらくために必要な家庭教育力の向上等の取組に対し補助する。</p> <p>3 (財)滋賀県人権センター事業推進 39,413</p> <p>滋賀県人権センターの運営費および事業推進費を補助する。</p> <p>4 人権教育研究事業推進 28,354</p> <p>滋賀県人権教育研究会の運営費および事業推進費を補助する。</p> <p>5 地域総合センター職員設置費補助 71,131</p> <p>市町がセンターに置く教育担当職員の給与費等を補助する。</p>

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
<p>【生涯学習課】</p> <p>縣市町等社会教育体制強化費</p>	<p>19,407 (14,221)</p> <p>- 19,407</p>	<p>社会教育関係職員等の資質向上のための研修事業や社会教育関係団体が実施する事業の補助を行う等、社会教育体制整備の推進を図る。</p> <p>1 社会教育連絡体制支援事業 1,642</p> <p>社会教育関係団体の実施する事業に対し補助を行う。</p> <p>新 2 日本PTA全国研究大会事業費補助 6,000</p> <p>第55回日本PTA全国研究大会滋賀びわこ大会の開催に対し補助を行う。</p> <p>3 社会教育体制強化支援事業 1,692</p> <p>社会教育関係職員や社会教育委員の資質の向上のため、研修の場を強化する。</p>
<p>生涯学習推進事業費</p>	<p>26,153 (24,135)</p> <p>諸 350</p> <p>- 25,803</p>	<p>いつでも、どこでも、だれでも主体的に学び、その成果を生かせるよう必要な支援を行い、生涯学習社会づくりの実現をめざす。</p> <p>1 高等学校等開放講座推進事業 5,130</p> <p>高等学校等の有する人的・物的教育機能を活用して、県民に学習機会を提供する。</p> <p>2 淡海生涯カレッジ開設事業 1,203</p> <p>大学や高等学校、公民館等の学習機関が相互に連携・協力を図り、県民に広域的で体系的な学習機会を提供する。</p> <p>3 しが生涯学習アカデミー事業 3,262</p> <p>県民の主体的な生涯学習を支援し、多様な学習ニーズに対応するため、各主体の講座等の情報を一元化して提供する。</p>

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
(生涯学習推進事業費)		<p>新4 「地域の力を学校へ」推進事業 3,257</p> <p>豊富な知識や経験を教育に生かしたいという意欲を持つ地域のさまざまな人々が「しが学びのマイスター」として、地域の学校で活躍できるような仕組みづくりを行う。</p>
女性教育振興費	<p>1,500 (2,313)</p> <p>－ 1,500</p>	<p>男女共同参画の視点で女性の生涯にわたる学習機会の充実を図る。</p> <p>1 滋賀県女性団体活動推進事業 1,500</p> <p>県内の女性団体が行う、女性の地位向上や、豊かな地域づくりを図る事業に対し補助を行う。</p>
市町等人権教育推進事業費	<p>14,289 (16,552)</p> <p>－ 14,289</p>	<p>すべての人々の人権が尊重される社会の実現を目指し、地域ぐるみでの人権教育の充実に努める。</p> <p>1 人権教育指導研修事業 2,441</p> <p>社会教育における人権に関する学習活動を総合的に推進していく。</p> <p>2 市町同和教育推進協議会等事業補助 10,548</p> <p>市町同和教育推進協議会等の事業および社会同和教育推進員等の設置に対し補助を行う。</p> <p>3 県同和教育推進協議会事業補助 1,000</p> <p>人権意識の高揚と人権・同和教育の推進を図るため、県同和教育推進協議会に対して補助を行う。</p> <p>4 社会教育関係団体等人権教育指導者研修事業 300</p> <p>人権尊重の団体づくりのための指導的立場となる人材の育成を行う。</p>

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
市町等図書振興事業費	<p>5,150 (5,452)</p> <p>－ 5,150</p>	<p>地域を支える情報や文化の拠点としての図書館の振興と子どもの読書活動の推進を図る。</p> <p>1 市町図書整備事業 1,640</p> <p>市町立図書館の図書購入費に対する補助を行う。</p> <p>2 子ども読書活動推進事業 3,510</p> <p>子どもが自主的な読書活動を行うことができるよう、社会的気運を高める啓発や学習講座の開催等の環境整備を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・啓発冊子等の作成</li> <li>・子ども読書ボランティア養成講座</li> <li>・PTA子ども読書推進活動</li> <li>・先生のための絵本の学習講座</li> <li>・絵本のひろば巡回展</li> <li>・子ども読書サミットの開催</li> </ul>
しが子どもの世紀推進事業費	<p>20,695 (24,820)</p> <p>国 4,750</p> <p>－ 15,945</p>	<p>子どもを育てる環境づくりの総合的な推進のための「しが子どもの世紀推進事業」を実施し、社会全体で子育てを支え合う気運の醸成に向けた取組を推進する。</p> <p>1 家庭教育力の向上 4,497</p> <p>子育てサポーター等の交流会や家庭教育資料の活用を進める取組により子育て学習の支援を行うとともに、保護者同士の語り合いの場づくりや、家庭教育の推進に向けた取組をする企業や事業所の拡大、子どもの望ましい基本的な生活習慣の育成を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭教育活性化推進事業</li> <li>・企業内家庭教育促進事業</li> <li>・「早寝・早起き・朝ごはん」県民運動推進事業</li> </ul>

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
(しが子どもの世紀 推進事業費)		<p>2 子どもの体験活動の機会と場の充実 6,448</p> <p>子どもの体験活動の機会と場の充実に向けた環境づくりと、地域教育協議会の活性化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもを育む地域教育協議会活動推進事業</li> <li>・学校と地域を結ぶコーディネーター担当者新任研修</li> </ul> <p>新 3 放課後子ども教室推進事業 9,750</p> <p>安心・安全な子どもの活動拠点（居場所）を設け、地域住民の参画を得て、子どもたちとともに勉強やスポーツ、文化活動などの取組を推進する。</p>
青少年教育振興費	<p>7,914 (6,480)</p> <p>⊖ 7,914</p>	<p>未来を切り開く豊かな心とたくましさを併せ持つ青少年を育成するため、青少年の自主性を尊重しつつ発達段階に応じた指導と支援に努めるとともに、学校外の活動を促進する。</p> <p>1 「中学生広場」開催事業 1,242</p> <p>中学生が日頃の思いや意見を発表し、聞き合うことで、心のふれあいを広げるとともに青少年の健全育成を図る。</p> <p>2 心の冒険推進事業 2,670</p> <p>遊びや冒険的な活動を通して自尊感情や信頼関係を段階的に高めるプログラムであるプロジェクトアドベンチャーの普及を図るため、学校等で活用できるプログラムの作成や指導者養成等を行う。</p>
<p>【県立図書館】</p> <p>図書資料整備事業費</p>	<p>117,801 (127,715)</p> <p>⊖ 117,801</p>	<p>図書資料の収集、整備に努め、県民の資料情報センターとしての役割を果たしていく。</p> <p>1 図書資料等購入事業 100,000</p> <p>2 近江デジタル歴史街道事業 2,400</p> <p>県立図書館が所蔵する歴史的に貴重な絵図・古文書・絵葉書等をデジタル化し、公開することで、県民の地域資料に対する関心を高め、利用の促進を図る。</p>

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
<p>【スポーツ健康課】</p> <p>学校保健安全指導費</p>	<p>198,403 (171,374)</p> <p>国 23,710</p> <p>諸 50,125</p> <p>－ 124,568</p>	<p>児童生徒が健康で安全な生活を送ることができるよう、県立学校の児童生徒の健康課題に対する指導の充実や健康管理強化を図るとともに、地域ぐるみで取り組む学校安全体制の整備を推進する。</p> <p>1 健康管理強化事業 156,398</p> <p>県立中学校を始め、県立高・特別支援学校の児童生徒健康診断、学校環境衛生検査等を行う。</p> <p>2 学校安全体制整備推進事業 23,710</p> <p>家庭や地域の関係機関・団体と連携し、地域社会全体で学校安全に取り組む体制の整備を図る。</p> <p>新 3 子どもたちの安全対策支援事業 17,100</p> <p>子どもたちの安全確保のための取組を推進するため、スクールガードの活動等に対し支援を行う。</p>
<p>学校体育指導費</p>	<p>55,651 (102,127)</p> <p>－ 55,651</p>	<p>児童生徒の体力向上に努めるとともに心身の健全な発達を促し、生涯にわたって運動やスポーツを豊かに実践していくための基礎を培う学校体育・スポーツの充実を図る。</p> <p>1 中体連活動振興事業費補助 15,716</p> <p>中学校体育大会開催補助、近畿、全国大会派遣費に対し補助を行う。</p> <p>2 高体連活動振興事業費補助 31,412</p> <p>高等学校体育大会開催補助、近畿、全国大会派遣費に対し補助を行う。</p> <p>3 部活動わくわくプラン 2 1 3,531</p> <p>中学校・高等学校での運動部活動において、地域で活躍する外部のスポーツエキスパートに指導を依頼し、運動部活動の活性化を図る。</p>



事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
<p>学校給食指導費</p>	<p>2,900 (2,445)</p> <p>国 48</p> <p>- 2,852</p>	<p>学校給食は、児童生徒の心身の健全な発達を図るため学校教育の一環として実施されている。この給食の普及充実、改善を図り学校給食の目的達成に資する。</p> <p>1 湖っ子食育推進事業 1,128</p> <p>食習慣が形成される児童生徒期において、正しい食事の取り方や、望ましい食習慣を身につけさせるため、食に関する指導の充実を図り、生涯をとおした健康づくりに資する。</p>
<p>スポーツ振興事業費</p>	<p>17,374 (16,811)</p> <p>- 17,374</p>	<p>県民のだれもが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しめる生涯スポーツ社会の実現に向けて総合型地域スポーツクラブの設立、育成およびその支援を図る。</p> <p>1 広域スポーツセンター事業 3,643</p> <p>市町が行う総合型地域スポーツクラブの創設や運営に対する指導助言その他支援活動を行う。</p>
<p>スポーツ大会費</p>	<p>205,186 (75,793)</p> <p>- 205,186</p>	<p>本県の競技スポーツの向上と生涯スポーツの振興のため、各種の全国的規模の大会に選手を派遣するとともに、県民の期待に応えた選手を表彰する。</p> <p>1 国民体育大会派遣費補助 76,452</p> <p>本県を代表し、第62回大会（秋田県等）に参加する選手や監督の派遣経費に対し補助を行う。</p> <p>2 全国スポーツ・レクリエーション祭派遣費補助 8,977</p> <p>本県を代表し、青森県大会に参加する選手や監督の派遣経費に対し補助を行う。</p> <p>3 全国スポーツ・レクリエーション祭開催準備 78,256</p> <p>第21回全国スポーツ・レクリエーション祭の本県開催にあたり、県民との協働による参加型の広報事業等の準備を円滑に進めるため、事業に要する経費に対し補助を行う。</p>

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
(スポーツ大会費)		<p>4 日本スポーツマスターズ大会開催 32,000</p> <p>日本スポーツマスターズ2007びわこ大会の当該年度にあたり、全国から集う選手達を暖かく迎えるとともに、大会をとおしてより多くの県民が生涯スポーツを身近に感じることができるよう、大会の開催に要する経費の一部を負担する。</p>
スポーツ団体育成費	<p>112,612 (140,545)</p> <p>－ 112,612</p>	<p>各種競技スポーツ団体への補助および競技大会への補助や県・県教育委員会が主催、共催する競技大会を行う。</p> <p>1 県民体育大会開催 5,000</p> <p>第60回大会の開催経費を負担する。</p> <p>2 びわ湖一周駅伝大会開催 59,000</p> <p>第7回びわ湖男女駅伝大会・びわ湖大学駅伝大会の開催経費を負担する。</p> <p>3 びわ湖毎日マラソン大会開催 30,000</p> <p>第63回大会の開催経費を負担する。</p>
スポーツ強化対策費	<p>66,526 (74,526)</p> <p>－ 66,526</p>	<p>本県選手の競技力向上、レベルアップを図るため、強化合宿、対外遠征などの経費、競技備品の整備費に対し補助を行う。</p> <p>1 選手強化対策費補助 66,000</p> <p>国民体育大会および全国規模の大会出場選手の選手強化費に対し補助を行う。</p>

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
社会体育施設整備費	<p>98,816 (395,100)</p> <p>－ 98,816</p>	<p>県立社会体育施設等の整備、充実を図り、体育スポーツの普及振興に努める。</p> <p>1 社会体育施設整備 98,216</p> <p>彦根総合運動場陸上競技場公認の更新にあたり、必要な改修整備を行うほか、県立社会体育施設機能の適切な維持のため、施設設備の整備・改修を行う。</p> <p>新 2 県立社会体育施設再整備検討 600</p> <p>県立社会体育施設の老朽化を受け、今後の再整備の方策について調査・検討を行う</p>
<p>【文化財保護課】</p> <p>文化財活用促進費</p>	<p>19,518 (17,362)</p> <p>国 4,600</p> <p>繰 10,000</p> <p>－ 4,918</p>	<p>県内に多く存在する文化財の活用に向けて、県内史跡地等の整備を推進するとともに、地域づくりへの貢献や滋賀の歴史・文化の県内外への積極的な発信を図る。</p> <p>1 県有史跡地活用整備事業 2,030</p> <p>県有史跡地の保存と活用を図るための調査等を行う。</p> <p>2 史跡紫香楽宮跡確認調査事業 3,000</p> <p>紫香楽宮にかかる関連遺跡群の総合的な保存と活用を図るため、甲賀寺跡（史跡紫香楽宮）の発掘調査を行う。</p> <p>3 琵琶湖環状線沿線文化財探訪事業 4,200</p> <p>信長・秀吉・家康ゆかりの文化財をはじめ、本県内の文化財等を県・市町・JR協働の下、講座・現地探訪会の開催やガイドブックの刊行、博物館での特別展示等により、県内外に積極的に紹介し、琵琶湖環状線の利用促進と文化財の活用の定着化を図る。</p> <p>新 4 里山・遺跡のコ・ラ・ボ（木・愛） 10,000</p> <p>里山整備により木々に埋もれて観察しがたい文化財を顕在化させ、これを地域資源としての活用に供する。</p>

単位：千円

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
遺跡保存整備事業費	193,514 (319,755)	<p>地域開発と遺跡保存との調和を図りつつ、文化遺産の保存対策を講ずる。</p> <p>1 公共事業関連緊急発掘調査 188,683</p> <p>公共事業の円滑な推進を図るため、国土交通省等からの受託による公共事業関連発掘調査等を行う。</p>
	財 1,916	
	繰 55,613	
	諸 131,154	
	－ 4,831	
文化財調査事業費	10,042 (9,595)	<p>県下に所在する文化財の実態を調査し、保存策の策定や記録保存を行うとともに、指定など、文化財の保存の促進と県民への活用を図る。</p> <p>1 古文書等詳細調査 2,350</p> <p>県内各地の社寺等に伝わる法華経などの古経典を緊急に調査し、保存策を講じるための資料を得る。</p> <p>2 中近世古道調査 2,000</p> <p>県内11の主要街道等とその周辺の自然や歴史的遺産を総合的に調査する。平成19年度は、湖南・湖西地域の湖上交通についての現況調査を実施するとともに、今後の調査にかかる予備調査を行う。</p> <p>3 自然神信仰調査 1,002</p> <p>県下各地で伝承されてきた野神や山の神を対象とする信仰や素朴な祭祀等の実態を調査し、その記録保存を図るとともに、これら祭祀習俗伝承の重要性について地域の認識を深めていく。</p> <p>平成14年度～平成18年度の5ヶ年の調査成果をとりまとめ報告書を刊行する。また、一部補完調査を行う。</p>
	国 4,575	
	－ 5,467	

単位：千円

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
文化財保護助成費	340,276 (356,657)	文化財の保存と活用を図るため、文化財の所有者等が行う保存修理等の事業に対して助成を行う。
諸	210,174	1 指定文化財保存修理等補助事業 114,684
		(1) 文化財保存修理事業等に対する助成を行う。 73,886
－	130,102	国指定文化財保存修理等補助金 29件 39,660
		県指定文化財保存修理等補助金 8件 34,226
		(2) 市町教育委員会が行う個人住宅建設および団体営ほ場整備
		事業に伴う発掘調査ならびに埋蔵文化財分布調査等に対する助成を行う。
		埋蔵文化財発掘調査等補助金 22件 40,225
【安土城跡調査研究所】		
特別史跡安土城跡調査・整備事業費	24,349 (46,649)	特別史跡安土城跡を長期的・計画的に調査整備し、魅力ある史跡公園として広く県民および国民の活用に供することを目指す。
国	10,200	1 発掘調査 5,400
		これまでに実施してきた発掘調査の最終的な整理調査を行い、主に大手道および周辺郭群の調査結果を再検討し、報告書を刊行する。
－	14,149	2 環境整備 15,000
		大手西枡形虎口から百々橋口までの南側地区の具体的な整備工事に着手する。
		3 文書調査 1,351
		発掘調査では得難い安土城築城の経緯や城跡の保存の歴史を、県内外の文書資料の調査によって解明し、安土城の歴史性を明らかにするとともに、安土城に関する基礎資料を集成する。

単位：千円

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
(特別史跡安土城跡 調査・整備事業 費)		<p>4 織豊期城郭基礎調査 866</p> <p>近世城郭の先駆といわれる安土城を出発点とした織豊期城郭の特質を、県内外の城跡の石垣・遺物等から明らかにし、織田政権や安土城の築城の歴史的な位置づけを明らかにする。</p>
史跡観音寺城跡調査 ・整備事業費	<p>3,000 (2,500)</p> <p>－ 3,000</p>	<p>史跡観音寺城跡はわが国を代表する戦国期の史跡であり、保存・活用を早急に進めることを目指す。</p> <p>1 史跡観音寺城跡基本構想・基本計画策定事業 3,000</p> <p>平成16～17年度で策定した史跡観音寺城跡保存管理計画に基づき、特別史跡安土城跡と一体的な史跡公園として広く県民等への憩いと学習の場の提供および近江風土記の丘の活性化などを目的に、史跡観音寺城跡の整備基本構想・基本計画を平成18～19年度の2ヶ年で策定し、報告書を刊行する。</p>